

平成 21 年度事業報告書

(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

I. 財団の管理・運営

会議の開催

第 29 回理事会 (平成 21 年 6 月 15 日)

一般財団法人への移行に伴う定款変更及び移行後の公益目的支出計画が承認されました。平成 20 年度事業報告及び収支決算報告が承認されました。

第 29 回評議員会 (平成 21 年 6 月 15 日)

一般財団法人への移行に伴う定款変更及び移行後の公益目的支出計画が承認されました。平成 20 年度事業報告及び収支決算報告が承認されました。

第 30 回理事会 (平成 22 年 3 月 10 日)

評議員の任期満了に伴う選出について審議の結果、評議員 14 名（任期：平成 22 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）が選出され承認されました。選考委員会委員の任期満了に伴う選出について審議の結果、選考委員会委員 4 名（任期：平成 22 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）が選出されました。平成 22 年度事業計画及び収支予算、平成 22 年度奨学生 41 名等が承認されました。

また、一般財団法人への移行認可申請を行ったことにつき報告があり承認されました。

第 30 回評議員会 (平成 22 年 3 月 10 日)

理事及び監事の任期満了に伴う選任について審議の結果、理事 12 名及び監事 2 名（任期：平成 22 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）が選任され承認されました。平成 22 年度事業計画及び収支予算、平成 22 年度奨学生 41 名等が承認されました。

また、一般財団法人への移行認可申請を行ったことにつき報告があり承認されました。

第 17 回選考委員会 (平成 22 年 2 月 15 日)

奨学金対象校から推薦のあった平成 22 年度奨学生候補者 323 名及び現地（大韓民国）奨学生候補者（3 名）について、審査の結果、(財)共立国際交流奨学財団奨学金 15 名（現地（大韓民国）採用 3 名）及び(株)共立メンテナンス奨学基金奨学金 25 名の合計 40 名（現地（大韓民国）採用 3 名）を平成 22 年度奨学生候補者として選考しました。

Ⅱ. 奨学金支給事業

留学生奨学金の支給

平成 20 年度(財)共立国際交流奨学財団奨学金 12 名及び平成 21 年度(財)共立国際交流奨学財団奨学金 15 名、(株)共立メンテナンス奨学基金奨学金 25 名、合計 52 名に平成 21 年 4 月から平成 22 年 3 月まで、奨学金（(財)共立国際交流奨学財団奨学金 月額 10 万円・期間 2 年間、(株)共立メンテナンス奨学基金奨学金 月額 6 万円・期間 1 年間）を支給しました。

平成 20 年度中国福祉医療人材育成基金奨学金 1 名（10 月採用）に平成 21 年 4 月から平成 21 年 9 月まで、及び平成 21 年度中国福祉医療人材育成基金奨学金 16 名に平成 21 年 4 月から平成 22 年 3 月まで、奨学金（中国福祉医療人材育成基金奨学金 月額 10 万円・期間 1 年間）を支給しました。

現地奨学金を、ベトナム 6 名、ラオス 4 名、ミャンマー 4 名 計 14 名に支給しました。

Ⅲ. 寄附金募金事業

株式会社くみあい食品からの寄附金（使途不特定）、特定非営利活動法人国際人材育成機構からの寄附金（中国福祉医療人材育成基金奨学金 16 名分）及び個人 3 名からの寄附金（現地奨学金 3 名分）を受け入れました。

Ⅳ. 国際交流支援事業

研修会の開催

奨学生及び一般学生（留学生、日本人学生）も参加し、相互理解と国際親善・交流を促進するための研修会を実施し、訪問地におけるホームステイ、史跡・歴史的建造物見学、ディスカッション等を通して、日本の文化、歴史、自然についても理解を深めました。

<各研修会報告>

第 46 回 奨学生研修会

開 催 地：広島市

開催期間：平成 21 年 5 月 30 日～6 月 1 日 2 泊 3 日

参 加 者：(財)共立国際交流奨学財団 平成 20・21 年度奨学生 27 名

内 容：広島観光、課題実習

第 47 回 研修会

共 催：(財)共立国際交流奨学財団、(財)北海道国際交流センター

開 催 地：北海道 札幌・函館地域

開催期間：平成 21 年 8 月 16 日～23 日 7 泊 8 日

参 加 者：留学生 31 名
内 容：ファーム体験、ホームステイ

第 48 回 研修会

共 催：(財)共立国際交流奨学財団、オホーツク国際交流センター
開 催 地：北海道 オホーツク地域
開催期間：平成 21 年 8 月 26 日～9 月 1 日 6 泊 7 日
参 加 者：留学生 15 名
内 容：ホームステイ、各地域表敬訪問、親善交流

第 49 回研修会

開 催 地：沖縄東村・うるま
開催期間：平成 21 年 12 月 8 日～12 月 13 日 5 泊 6 日
参 加 者：留学生 28 名
内 容：東村民家宿泊体験、うるまマングローブ植樹、沖縄観光

第 50 回 研修会

共 催：(財)共立国際交流奨学財団、(財)北海道国際交流センター
開 催 地：北海道 函館市
開催期間：平成 21 年 12 月 2 日～6 日 4 泊 5 日
参 加 者：留学生 16 名
内 容：ホームステイ、学校交流、ガラス作り体験他

第 51 回 研修会

開 催 地：沖縄本島・伊江島
開催期間：平成 22 年 2 月 22 日～2 月 27 日 5 泊 6 日
参 加 者：留学生・日本人学生 43 名
内 容：伊江島民家宿泊体験、屋我地マングローブ植樹、沖縄観光

V. 生活支援事業

留学生の生活支援を行うため、蕨女子学生会館、武蔵浦和女子学生会館、つつじヶ丘男子学生会館、相模大野学生会館の国際交流会館 4 棟の管理・運営及び「学習奨励寮」を全国 6 地域（札幌、仙台、首都圏、名古屋、大阪、福岡）で運営を行いました。

また、大学、専門学校及び日本語学校（1 校 3 名以内）に提供する「奨学寮」を東京地区 7 大学、名古屋地区 3 大学、関西地区 10 大学・11 専門学校・4 日本語学校、九州地区 3 専門学校・3 日本語学校に計 118 名分提供しました。

VI. 教育事業

日本語教育施設として日新アカデミー日本語学校の管理・運営を行いました。

VII. 出版物

財団紹介のパンフレット『財団法人共立国際交流奨学財団(紹介・情報案内) Vol.15』情報誌『アジア文流 Vol.26』、『アジア文流 Vol.27』を出版し、文部科学省、関係機関、奨学財団、大学、専門学校、日本語学校及び奨学生などに配布しました。

VIII. イベント事業

1. 第12回「日本体験コンテスト in 大韓民国」の開催

当財団(東京本部・ソウル事務所)主催、文部科学省、在大韓民国日本国大使館公報文化院、東亞日報、全日本空輸ソウル支店後援、(株)共立メンテナンス協賛の標記コンテストの企画募集及び選考を行い、平成21年9月19日、大韓民国ソウル特別市ロッテホテルを表彰会場として入賞者の表彰式を開催しました。

標記コンテストは、大学院、大学校、大学生を対象として、「日本で実現したい夢」「日本で体験したい事」をテーマに企画を募集しました。応募者96名の中から書類選考で選ばれた12名の企画優秀者の面接を実施、各々の企画をプレゼンテーションしてもらい審査委員による採点審査の結果5名が選ばれました。

入賞者5名は、平成22年3月31日までに、それぞれの日本体験企画を実施し、その報告書を提出しました。

2. 2010年度「現地奨学生選考会」 in 大韓民国

日本の教育機関(大学院、大学、専門学校)に進学を希望する応募者84名に対し、当財団菊川選考委員、北原選考委員が日本語による面接を行い、3名が平成22年度(財)共立国際交流奨学財団奨学金奨学生候補者に選ばれました。

3. 第2回「日本語体験コンテスト in ホーチミン」の開催

「日メコン交流年2009記念事業」として、当財団主催、文部科学省、在ホーチミン日本国総領事館、全日本空輸ホーチミン支店後援、(株)共立メンテナンス、株式会社ローソン協賛の標記コンテストを、平成21年10月17日ベトナム社会主義共和国ホーチミン市Le Thi Hong Gam職業訓練センター講堂を会場として開催しました。

日本の高等教育機関に留学を希望する学生や、日本語を現地のベトナム国家大学ホーチミン市人文社会科学大学、さくら日本語学校、ドンズー日本語学校で学んでいる学生を対象に実施し、92名の応募がありました。

午前中に行われた予選会では、日本の最新の時事問題を問うものから地球環境、また文化風習等に関する選択式の聴き取り問題30問が出題され、26名が予選を通過し、午後の本選会に出場しました。本選会では、3分間の即興スピーチを行い審査委員に

よる採点審査の結果、入賞者 5 名が選ばれました。

入賞者 5 名は「夢・日本体験賞」として賞品旅行 6 日間（平成 22 年 2 月 1 日～2 月 6 日）に参加し、日本の学校見学、研修観光等のプログラムを通し、日本の教育環境、文化などに触れ日本について理解を深めました。

4. 第 7 回「日本語体験コンテスト in 上海」の開催

当財団（東京本部・上海委託事務所）主催、文部科学省、在上海日本国総領事館、全日本空輸上海支店後援、(株)共立メンテナンス協賛の標記コンテストを平成 21 年 10 月 18 日、中華人民共和国上海市甘泉外国語中学校を会場として開催しました。

日本の高等教育機関に留学を希望する学生や、日本語を学んでいる中国の大学生、高校生を対象に実施し、大学生 72 名、高校生 75 名が参加しました。

午前中に行われた予選会では、日本の政治、経済、文化、文学、社会、地理に関する選択式の聴き取り問題 30 問が出題され、22 名が予選を通過し、午後の本選会に出場しました。本選会では 3 分間の即興スピーチを行い審査委員による採点審査の結果、入賞者 8 名が選ばれました。

入賞者 8 名は「夢・日本体験賞」として賞品旅行 6 日間（平成 22 年 2 月 1 日～2 月 6 日）に参加し、日本の学校見学、研修観光等のプログラムを通し、日本の教育環境、文化などに触れ日本について理解を深めました。

5. 第 10 回「日本人学生の『アジア体験』コンテスト to Vietnam」の開催

「日メコン交流年 2009 記念事業」として、当財団主催、文部科学省、外務省、駐日ベトナム大使館、産経新聞社後援、(株)共立メンテナンス協賛の標記コンテストの企画募集及び選考を行い、平成 21 年 11 月 21 日、(株)共立メンテナンス会議室を表彰会場として入賞者の表彰式を開催しました。

標記コンテストは、大学院、大学、短大、専門学校生を対象として、「ベトナムで体験したいこと」をテーマに企画を募集しました。応募者 11 名の中から、審査委員による採点審査の結果 3 名が選ばれました。

入賞者 3 名は、平成 22 年 3 月 31 日までに、それぞれのベトナム体験企画を実施し、その報告書を提出しました。